

刊夕 日六月八

新報

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

発行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇

印刷所 常磐毎日印刷株式会社

日本精神と神社 (三)

石城郡神社 講義筆記

國學院 博士 海野清吉

今は櫻花の満開で御堂町にも大分櫻があるやうであります、今から二百年前に伊勢の松坂から出た本居宣長翁は日本心は朝日がさした山櫻のやうなものであると考へてかの有名な「敷島の和心を人間は、朝日にほふ山櫻ばな」と歌つて居りますが、今日皆さか何うでせうか、今日皆さんがお嘆ひになる敷島や朝日と云ふ煙草の名は此の歌から出て居りますが然し日本心は果して朝日に映じた山櫻の花のやうなものであるか何うか皆さんは之れを疑問として考へられたことがありますが、日本心が日本精神が朝日に映つた山櫻のやうだと云ふのは何う云ふ譯であるかと云ふことをお考へになつたことがありますか。

さて然らば日本心の第一の特色は何んでありませうか、私はそれを神々しさの氣分であると思ひます、神々しいことを好む氣持ちであります。日本人には何かしら拜みたいやうな心持が

ある、それは日本心の一大特色である私は信じて居る、之れを日本言葉で云ふと神々しさの氣分でありませう、これは私がお互が持つて居る日本心の底深く湛へられた祖先以來の遺傳的情操だと考へる、今日全國に十二万三千餘のお宮があるこのお宮と云ふものは日本の神々しさの氣持から祀つたものであると思ひます日本人は到る所にお宮を拵へて居る、滿洲や樺太にも立派なお宮が立つてをります、丁度昨年十二月初であります、東北本線の汽車で旅してをりますと私の前に樺太のズット北の方に住んで居ると云ふ如何にも朴訥な人が腰を掛けて居られました、樺太の奥の方にはお宮様はありますか、いなとお尋ねすると何うして〜在るどころではありませぬお宮様がなくて私共は淋しくて暮すことが出来ませぬと云ふ答へであつた、それはなぜであるか、つまり神々しさ氣分に浸ることが出来ぬからであります、日本心の特色は正に此の神々しい氣分でありませぬ、我々が天皇陛下に對し奉る心持は只國を治める方であるとのみは思はれない、生きた神様として何となく其處に嚴肅な氣分が漂ふ、これが即ち我々日本人の皇室に對する氣持勿論この氣持は日本心の神々しさの特色であると言はなければならぬ、之を除いて私は日本の國體觀念は説明が出来ないと思ひます。

大正二年の七月卅日、丁度 明治天皇がお隠れになつて滿一ヶ年の日に私は郷里に居りました其所は僅か戸數三百ばかりの小さな町でありましたが、その小學校の庭に伏見桃山御陵の方に向つて拜場を設けまして町長さんが總代で遙拜を致しました、さうして其の式が終りましたが、まだ後から來る人があるかと思つて遙拜場は其のまゝにして置いた、大抵の場合が式が済んだ後に來た人はスグ引返すものですが、所が見て居ると或は三人或は五人遅れて來る人が何れも遙拜場の前に立つて恭しく伏見桃山の方に向つて遙拜をする、その中に一人の八百屋さんが左の脇に何だか風呂敷を抱へて來ましたが其中から奇麗に束ねた生薑を出しまして丁寧に之れを遙拜壇

市原醫院

平町 田町 電話 一一四番

季節御料理

柳川 一人前 金二十五錢

うな井 金三十五錢

蒲焼 金五十五錢

右大々勉強出前迅速
◎滋養豊富! 風味美味!
是非一度御試食を
大蒲焼・鳥料理
壽司・折詰仕出し
魚 榮
田町(電話四二四番)

三井

タクシー

電話 六八五番

御位牌と佛壇佛具

平町新川町 橋本屋佛具店 電話一六三番

亡キヨ子儀新盆に相當り候處時節柄佛前供品一切御辭退可申上候付不惡御了承相成度候 敬白

新田町 清野音吉

クラック

代理店 松崎商店 大室屋

平町新川町(電一七二)

蠅蚊・南京虫・油虫・羽虫・蚤・虱退治にほんの少しで一たまりもなく死ぬ

亡父勝二儀本年新盆に相當仕候も故人の遺志に依り提灯の御贈與辭退仕度此段御諒承願上候

内郷村新町(公園下) 鹽坂幸子 電話一九二番

外科

X光線科 性病科 外科

平町 田町 安齊外科醫院 電話四七五番

災害復舊工事は 村民感謝の的

五日目毎に渡される

賃銀が命の綱

石城郡下に於ける田畑地の少ない山間部たる川前、澤渡、三坂、荷路夫、貝泊田人、石住等各村にては殆んど

路改修工事は前記七ヶ村に二十三ヶ所の工事が割當てられ是れに従事する

が出席者は七十餘名であつた

現金の取引を見られず窮乏のどん底に陥つて居るが去月中より開始された平土木監督所の災害復舊道

達し五日目毎にその賃銀が支給されるので前記七ヶ村の部落民に早天に雲霓を望んだが如く感謝されて居ると

其後優良豚の 賣行さが盛ん

石城郡下各農村養豚の取引相場は去月中四割と云ふ大下落値を示し農家では競つて居ると

平の温度

| | |
|-------|------|
| 平裁判所 | 九一、〇 |
| 平刑務所 | 八六、五 |
| 平役場 | 九一、五 |
| 土木監督所 | 九二、〇 |
| 平警察署 | 九一、〇 |
| 団体事務所 | 九〇、五 |
| 平税務署 | 九一、〇 |
| 平郵便局 | 九三、〇 |
| 平驛 | 九二、〇 |
| 平管林署 | 九〇、〇 |

て盛んに投資をしたが最近東京市場の優良豚の不足から高値を呼び現在では下

戸籍吏會 けふ總會を

平區裁判所管内の石城、双葉、相馬、各町村役場戸籍吏員よりなる戸籍會は本日前九時より江名小學校に於て總會を開會した

大浦共米販賣

販賣利用組合大浦倉庫の共同米販賣は昨五日同所にて行はれ三等三俵、四等百九十二俵、五等百九十八俵、等外十二俵、計四百四俵を入札せる結果四等建値七圓七十五錢を以て平町長瀬富彌氏に落札されたが前回より二十五錢の安値であつたと

永山和平氏が 保護者會長辭任

平町小學校保護者會にては今朝會長永山和平氏が辭任を申出たので近日評議員會を開き後任を決定する筈であるが、副會長井上茂作評議員丹野榮三郎兩氏の内から就任を見るらしいと

平映畫界

回平館 日活現代劇谷幹一 佐久間妙子主演「金は天下の廻り」千恵藏プロ 片岡千恵藏主演「金忠輔

大會廿二卷

回世界館 東活映畫嵐寛壽郎、原駒子主演「忠治笑へば」東活時代劇尾上菊太郎、木下双葉主演「踊子行狀記」東活作品嵐寛壽郎、岡島艶子主演「清水次郎長」

平第一 校學海臨

今日で四日目を迎へて、疲れが出て来た。二時頃起きて海催

かりあるのです。古川先生は舟べりから川の中にとびこみます。大きな魚の様に先生は會津生れなそうですが、山生の割合に泳が上手です。松本先生はよく小さい人弱そうな人を見つけて親切にして下さいます。舟から降りるとすぐ自慢の辨當！運動がはげしいので一粒も残さず頂きました。「まつとく、いたいな！」なまけなりの頼もしいのかわからぬ聲です。

晝休をしてすぐしんみ採りです。學校に歸つて頂くだけ取るわけですが二つか三つきりとならない人もありました。皆赤帽に入れて嬉々として居ります。

二時半歸舎、青い松、白い砂、赤い帽子が目の前にあります。明日はしんみ汁、僕等のとつたしんみ汁です。

お父さんお母さん、家の人々よ、お便り下さい。手紙がともうれしいのです。毎日来る人もあるのに、まだ一本も来ない人もあります。

方々の人々から、お菓子を頂いておやつに時間をたくさん頂いて居ります。寄贈して頂いた人々に厚く御禮申し上げます。

川本 本場新茶入荷

一斤に付、四〇より 一一、〇〇まで

新家庭用ほうじ茶

斤 六〇 四半斤 一五錢

斤 四〇 一〇錢

御家庭用 京清水焼 御前茶器 番茶器 組三〇錢 在荷豊富

香味本位の本場銘茶を 召上りませう

電三九六番

大勝園

内科・小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町 電話五〇七番

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番



耳鼻咽喉科専門

増田醫院

平南町 (電話四八二番)

乗合自動車の客が

運轉手を傷く

料金の事から大格闘となり 鞆から西洋銃を取り出して

双葉郡富岡町生れ當時東京府下北豊島郡杉並町字天沼三七三

雑貨商 佐藤二六(三)

は昨五日後八時頃石城郡小名濱町下明神町野口自動車運轉手大塚松男(三)の運轉せる乗合自動車にて湯本町天王崎地内に至つた際料金の事から大塚運轉手と

口論を初め自動車を止めて大格闘となつた處佐藤は突然所しせる鞆の中より西洋銃を取り出して大塚の右肩外敷ケ所を突き全治四週間の重傷を負はしたの

取押へられ同夜平署に押送目下嚴重取調中である

火事場で口論 消防手を刺す

逃走中自宅に 立廻つて捕る

平町字研町十二番地生れ目下住居不定無職鈴木利吉(三)は本日平検事局に召喚され市川検事の嚴重な取調べを受けて居るが、事件の内容を仄聞するに同人は轉々諸方を流浪中本年四月二十六日岩瀬郡須賀町の火事場にて消防手安澤某と口論の末短刀を持つて同人を突き頻死の重傷を負はしめて逃走搜索中此の程肩書地の自宅に立寄つた處を取押へられたものであると

爐中に轉落して 幼児生不動

手當も効なく死亡

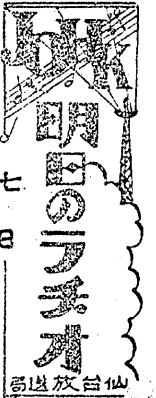
石城郡飯野村大字中山字諏訪下居住日雇業春吉四男鈴木一五(三)は去月卅日午後八時頃母親と爐端で遊戯中誤つて爐中に轉落し右腕腹部等に大火傷を負ふて手當中の處昨五日遂に絶命した

不在中に 鱈腹飲食

平町堤の内大和三郎(三)鍛田町坂本治郎(三)新川町鈴木市太郎(三)の三名は去る

生花講習會は 益々會員増加

平町女子青年團第三回生花講習會は本日午前八時より平第二小學校に於て開かれたが出席會員五十二名あり回を重ねる毎に出席者が増加すると



今晚は南西の風 曇り明日は北の風 晴れたり曇つたり

今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間 うたのおけいこ 外山國彦
- 後六三〇 山と海の講座 「文化史から觀た筑紫の海と島」 木下謙太郎
- 後七三〇 講演「日滿經濟協定の諸問題」 法學博士齊藤良衛
- 後八〇〇 長唄「俄獅子」
- 松永和風外
- 後八二五 映畫物語レビニ「國定忠治」外五篇
- 北原英太郎
- 後八五〇 ヴァイオリンとピアノ二重奏「ト短調ソナタ作品七八番」 ヴァイオリニストアレキサンダーモギレフスキー ピアノレオシロタ
- 後九三〇 満洲より
- 後九四〇 全國ニュース

明日の部

- 前九一〇 栄養料理「野菜加精肉ハンブルヒステイ」 栄養研究所
- 前九三〇 子供の時間 お話水の玩具「關猛」
- 前一〇〇〇 宗教講話「涼風神話」倉林藩山
- 前一〇四〇 講演「時効に就て」 法學博士大西耕三
- 一一〇〇 謡曲講座「謡の道しるべ」(三〇) 實演
- 寶主新 解説池内信嘉
- 後〇〇〇 オリムピック大會狀況 米國NRBロサンゼルス放送局より中

玉川消防清遊

石城郡玉川村消防組では去る二日午前七時より小學校々庭にて消防機械器具の点檢後小名濱海岸で清遊を行つた

泳げぬ少年が 河中に飛込み 流されて溺死

石城郡赤井村字畑子澤二五居住惣治郎の孫根本武治(三)は昨五日前九時頃隣家の布澤正(三)外敷名と好間村大谷作地内好間川に水泳に出掛け泳げぬので見て居たが友達に勧められて河中に飛び込み急流に押流され溺死した

負傷せしめて 不服あり

平町字才植小路三十一番地自動車運轉手佐藤正壽(三)は本日平區裁判所に正式裁判の申立をなしたが同人は本年六月十一日乗合自動車を運轉中平窪村大字上平窪字君ヶ澤地内に於て松本ノブ(三)に衝突せしめ全治約一週間を要する傷害を與へ去る四日平區裁判所に於て業務上過失傷害罪として罰金二十圓の略式命令に處せられたのが不服な爲めである

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五七〇番

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町 電話一七〇

美味! 芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社 電話一〇番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

第二百十席 眞庭念流の達人櫻井五助

敵に獲物がある
林藏が起き上らうとする
とおやまが

やま『親分出ちやアいけな
いよ、怪俄をするといけな
しよ』

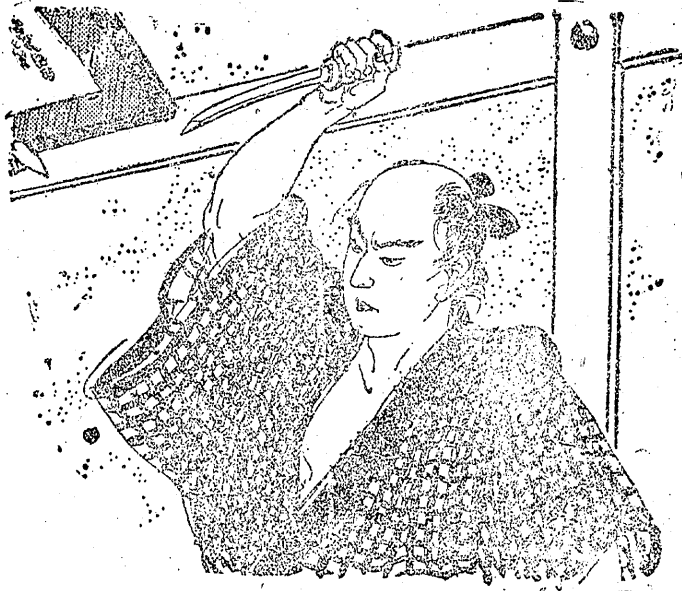
確かり獅噛付いた、これ
は林藏を殺させるつもりで
すから動かないやうにと押
へ附けた

林『エイ何をしやアがる』
振拂つて起き上つた途端
にゾロ／＼と入つて来たは
何れも嚴重に支度をした高
萩の身内、先に立つた山毛
谷戸の源太郎が

源『林藏汝の命は貰つた、
その首を渡せ』

林『ウム源太郎が大勢揃つ
て来やアがつたナ、何んだ
神妙に首を渡せと俺はてめ
え達にそんな事を云はれる
弱い點はねえ、それ能く聞
け俺の親父の磯五郎がてめ
え達の親分猪之松の阿母に
金を遣り其上猪之松の墓
まで建て佛の浮ぶやうにと
法事までして遣つた、シテ
見ればてめえ達に親分の敵
と云はれるわけはねえ、お
汁で面を洗つて出直して来
い、俺の部屋へ断りなしに
何んで入つて来た、この馬
鹿野郎洒落た事をしやアが

アがるナ』
スラリと引抜いた長脇差
林藏は床の間に置いた脇差
を取らうとするとうにお
やまが隠してはにはない
林『おやま脇差を持つて来
い、早くしろ』
やま『親分後生だから死ん
でおくれ、お前さん一人は
殺さない、親分死んでおく
れ』
と林藏に獅噛付き
やま『親分わたしと一緒に
死んでおくれ』
と云ふ
林『女、汝は猪之松の身内
と謀し合して俺を今夜この



と片端から佛にするから
さう思へ』
源『云ふな林藏、ヤイ汝は
ナ堅氣になると云ふ約束で
この武州に歸つて来た身の
上だ、それを何んだ賭場を
立てその上俺達の盆を荒し

廻る、さういふ我儘をされ
ててめえを生かして置いて
は親分に申譯がねえ、サア
命は貰つた覺悟しろ』
林『ウムそれはどほしい命
ならくても遣るがコレ見
る俺の腕には筋鐵が入つて
ゐるんだぞ』
源『生意氣な事を吐しや

足立屋に引出したナ、憎い
畜生だ』
と振拂つてエイ脇腹を
一ツ當るとアツと云つて倒
ふれる、此時二ツになれと
正面より斬下して来た富藏
の脇差、早くも身を開いた
林藏は枕を以つてボカリと
打つた、富藏は小額を強か

に打たれ夫れが引裂けてア
ツと云つて後へ下る、林藏
は床の間に後にして枕を取
つて向ふを見たがに他獲物
とする物がない據なく枕一
ツの得物です、この枕も出
來の安い物で富藏を打つた
時に壊れてしまつて持つて
ゐるは僅に括りばかり、け
れども度胸があつて腕が出
來るし白刃の下に度々身體
が賭つて喧嘩には慣れてゐ
る、さア来いと向ふを見た
その林藏の勢ひに近寄る者
がない
源『怪俄するナ、何もう野
郎を此處へ追込んでしまへ
ば袋の鼠だ、ゆつくり遣れ
』
○『何に猶豫しちやアゐら
れねえ、親分の敵だ、野郎
覺悟しろ』
と飛込んで来る、一人を
足を上げて蹴倒した、ガラ
／＼／＼／＼／＼
大變な騒ぎ、この時林藏が
床の間からズ／＼と右の方
へ身體を寄せて額の下へ來
たその横には窓が切つてあ
る、それを見た源太郎がこ
れは窓から逃げると思ひ
源『野郎は逃げるぞ、逃す
ナ』

二三人前から斬つてかつ
た、身を交した林藏が額の
裏へ手を遣ると引出した七
首ギラリ光つたと見えたが
先に立つた一人は頭を斬ら
れてアツと云つてそれへ
倒れた、驚いたのは高萩の身
内今まで獲物が無いとばか
り思つてゐたところ林藏は
七首を持つてゐる

○『しまつた奴物があるぞ
氣を付けろ』
ゾロ／＼と一同廊下へ下つ
た、どうして林藏がこの七
首を額の裏に入れて置いた
と云ふに足立屋へ来た時に
この座敷に入ると懐中から
七首を出して額の裏へ隠し
て置いた、それゆゑ一緒に
寝てゐたおやまが七首があ
る筈だと林藏の身體を探り
ました手が觸れぬ額の裏
に入れて置いたとは氣が付
きません、ところが今林藏
が血の滴る七首を振上げて
寄れば一と突と身構へた。

○『しまつた奴物があるぞ
氣を付けろ』
ゾロ／＼と一同廊下へ下つ
た、どうして林藏がこの七
首を額の裏に入れて置いた
と云ふに足立屋へ来た時に
この座敷に入ると懐中から
七首を出して額の裏へ隠し
て置いた、それゆゑ一緒に
寝てゐたおやまが七首があ
る筈だと林藏の身體を探り
ました手が觸れぬ額の裏
に入れて置いたとは氣が付
きません、ところが今林藏
が血の滴る七首を振上げて
寄れば一と突と身構へた。

石炭の大特賣

●塊炭 正味十貫目 俵 金貳拾錢
▼『品が良ク』『値が安ク』
▽トニカク一度……
使ツテ見テ下サイ
●配達ハ一俵ヨリ致シマス
御注文ハ……
電話三七番
阿部石炭商店

看護婦急派

の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

看護佛御供養の

御法名人提灯の大奉仕
瓜 形 一對房付 金一圓五十錢より
角 形 同 金一圓九十錢より
其他岐阜提灯種々取揃へてあります
是非御下命は電話九五番
平四丁目
スガノヤ提灯店

お醤油は ヤマフル

醤油味 贈
たひら 正宗
鯉節 食料品
鹽 屋
山崎合名會社
福島縣平町電話營業部三醸造工場
明治生命會社代理店 山崎與三郎